

報道関係者各位

2020年5月15日
 横浜中華街発展会協同組合
 理事長 高橋 伸昌



Yokohama Stories～横浜の文化を守り繋げる特別企画～

「お家で中華街」「オフィスで中華街」デリバリー+αの 連携開始

横浜中華街の発展のために活動する横浜中華街発展会協同組合（以下、「中華街発展会」）は、スカイファーム株式会社（神奈川県横浜市西区、代表取締役：木村拓也）と連携し、横浜を代表する文化の一つである「横浜の中華街文化」を守り繋げていく企画を実施します。

新型コロナウイルスの感染拡大による飲食店への甚大な被害は、観光都市横浜を支える食の危機であり、文化の危機でもあります。横浜中華街の中華文化、横浜山手の洋食やティータイム文化、馬車道の文明開化で生まれた数々の食、開港をきっかけに生まれた横浜の食文化は、観光都市横浜に欠かせない文化資源です。これら横浜の文化を支える食を守り繋げる特別企画は、私たちの「#がんばれ中華街」活動とも親和性が高く、このたびその企画の第二弾「横浜の中華文化を守り繋げる」として、主に以下の活動を実施、予定しております。



1. スカイファームが運営する「NEW PORT」デリバリーサービス実施

「お家で中華街」「オフィスで中華街」を合言葉に、横浜中華街で過ごす美味しい時間をお届けいたします。店舗をまたがって注文できる「はしごデリバリー」を導入し、街全体を楽しんでいただける仕組みになっています。また土産物など飲食以外のお届けも可能です。横浜中華街ではまだデリバリーサービスを実施している店舗が少なく、コロナ禍での新しい販路と顧客コミュニケーションを開拓する機会となると考えています。

2. 関内ベンチャー企業成長支援拠点「YOXO BOX」との連携

スカイファームはイノベーション都市・横浜を推進する横浜市が支援するベンチャー企業

であり、関内に開設された支援拠点「YOXOBOX」の運営に関わっています。ここには横浜のベンチャー企業と彼らを支援する様々なビジネスネットワークがあり、今後の街の発展のための情報交換や交流を実施していきます。」

3. 地域コミュニティの Gateway として、みなとみらい地域との連携

「NEW PORT」を中心とするスカイファームのサービスの利用者は大企業が多く、彼らの多くが属するみなとみらい地域は、横浜市企業誘致活動やイノベーション都市・横浜構想などにより、発展し続けている横浜の中でも成長ポテンシャルの高い地域です。今回の連携をきっかけに、横浜中華街とみなとみらい地域の交流や連携活動を活発化させ、横浜の経済活動を担う地域の横の連携を強化、地域の活性化を図るとともに、その可能性を広げていきたいと思っております。

中華街発展会では、街の組合として、横浜の発展の一助を担うものとして、可能な限りの社会的責任を果たしながら、一日でも早い状況の収束と横浜中華街と横浜地域経済を回復させるために、引き続き全力で取り組んでまいります。

■横浜中華街の Gateway 構想

2020年1月25日に示された「横浜中華街のネクストブランドビジョン」より。

横浜中華街は横浜地域経済の要です。2021年に中華街発展会が50周年を迎えるにあたり、観光の軸だけでなく、経済、生活文化、地域創生など様々な軸の Gateway として街の経済的価値と社会的意義を追求し、持続可能な社会と経営を実現する街とを目指します。



■横浜の文化を食で繋ぐ特別企画～について

1859年開港、日本を代表する貿易都市に成長した横浜は、欧米や中国などの外国文化をい

ち早く取り入れ、パン、アイスクリーム、牛乳、食肉、ビールをはじめ食文化も多彩で豊かなものとなりました。山手、本牧、中華街、山下町、馬車道、それぞれ文化がそれぞれの場所で脈々と継承され、多くの魅力的なレストランやお土産を中心に大切に育まれ、国際都市横浜のアイデンティティの一つとなった。本企画は、新型コロナウイルスの影響を受ける、横浜のアイデンティティの担い手たちを支援し、様々な連携することで、横浜の大切な歴史/文化/観光資源を守りたいという思いから誕生。第一弾は、横浜山手の西洋文化のえの木てい (5/8 サービス開始)、第二弾は中華文化の横浜中華街 (5/15 サービス開始)、第三弾は、開港文化の馬車道の勝烈庵&馬車道十番館が実施予定。

■スカイファームについて

スカイファームは、～横浜での“クロスオーバー”からイノベーションの創出～テーマのもと横浜市経済局が設置した、関内ベンチャー企業成長支援拠点・YOXO BOX (よくぞぼっくす) の運営に関わっています。横浜に根づくベンチャー企業として、今後もさまざまな商業施設へのオンデマンドデリバリーサービス導入をしながら、引き続きテクノロジーを活用することで課題解決・利便性向上に寄与し、快適な時間と空間の提供、不動産価値向上、飲食店支援、フードロス問題などへ取り組み、新たな価値の創造を目指す。「NEW PORT」の他、横浜ランドマークタワー内の就業者向けランチデリバリーサービス「ランドマーク SHIPPING」等、エリア特化、施設特化型デリバリープラットフォームを提供。ビジネスパーソン向けにランチ・会議用弁当・オードブル・手土産を取り扱い、システム開発からオペレーション構築・運営までシームレスに対応している。デリバリーの他にもテイクアウト、スマートオーダーの注文システムも提供し、今後はビジネスユーズのみでなく、商店街の商品もまとめてデリバリーを可能にするなど個人ユーズ需要にも地域単位で対応していく。また、NEW PORT のフードデリバリーシステムを活用し、外出自粛の影響を受けている市内飲食店・商店街および市民を応援するために、横浜市と連携協定を締結し、フードデリバリーの推進等を通じた地域飲食店等の活性化に関する取組「うまいぞ!横浜。」プロジェクトを令和2年4月30日より開始。本企画は、この取り組みとも連携している。

<本件に対するお問い合わせ>

横浜中華街発展会協同組合 担当：蔵方、入澤 hattenkai@chinatown.or.jp

TEL. 045-662-1252 FAX. 045-211-0593

神奈川県横浜市中区山下町 118-2 留日廣東會館ビル 5F www.chinatown.or.jp

●「#がんばれ中華街」活動について

横浜中華街発展会協同組合による、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に対しての、横浜中華街を中心とする地域への様々な支援活動の総称。新型コロナウイルスの状況変化に合わせて、組合員とお客様を含む来街者へ最適な支援策を打ち出し、経済活動の継続と浮

上を後押しする。街の組合として、可能な限りの社会的責任を果たし、横浜中華街のまちと横浜の活性化を目指す。

● 「#がんばれ中華街」活動の経緯とこれまでの中華街発展会の取り組み

2020年1～2月

中国武漢にて新型コロナウイルスが発生。その影響が日本国内においても始まる。

－状況把握

2020年2月

－情報の随時共有開始

－組合員へ臨時セミナー開始

－手洗い、うがいなどの更なる徹底、各店舗へのアルコール消毒設置支援など、感染防止策強化開始

－中華街発展会公式 web-site や SNS にて、情報発信開始

2020年3月 ※webなどを活用し、直接接触をできるだけ避けての実施

－地元金融機関による緊急財政支援策設置と相談会、他、緊急金融支援策の相談会実施

－雇用に関する相談会

－現状聞き取りアンケート（状況に即して継続的に実施）

－「#がんばれ中華街」横断幕掲示を機に、「#がんばれ中華街」活動始動

2020年4月～5月

－情報の随時共有、公衆衛生/感染防止対策支援、各種セミナー/相談会の継続実施

－マスク、アルコール除菌配布と安心安全 POP 掲示

－多謝カードでお客様へ感謝を伝える（緊急事態宣言解除後スタート）

－「街に灯りを」活動実施

－デリバリープラットフォームと連携（「NEW PORT」株式会社スカイファーム）

－ドライブスルーサービス開始

2020年6月以降

－情報の随時共有、公衆衛生/感染防止対策支援、各種セミナー/相談会の継続実施

－中華伝統行事：端午節（6/22-28）実施

※その他の活動については、新型コロナウイルスの状況に合わせて検討して参ります